

3 環境保全に関する取り組みについて

(1) 環境保全のために日常生活で行っていること

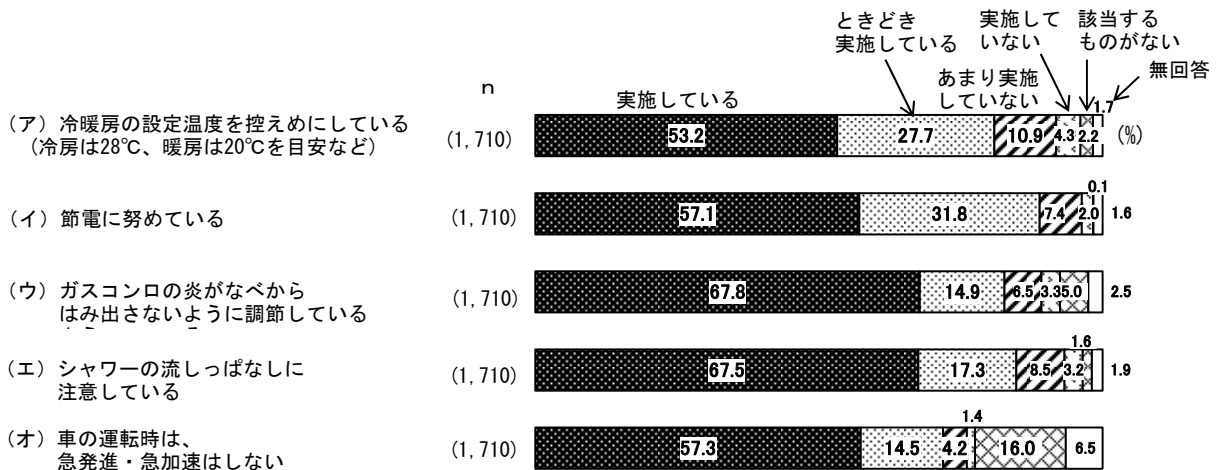
◇〈ガスコンロの炎がなべからはみ出さないように調節している〉、〈シャワーの流しっぱなしに注意している〉を「実施している」が約7割。

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいく必要があります。

問11 あなたは、ふだんの生活で次のようなことを行っていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

〈図表3-1〉環境保全のために日常生活で行っていること



環境保全のために日常生活で行っていることを聞いたところ、「実施している」は、〈冷暖房の設定温度を控えめにしている〉(53.2%)で5割台半ば、〈節電につとめている〉(57.1%)で約6割である。また、〈ガスコンロの炎がなべからはみ出さないように調節している〉(67.8%)、〈シャワーの流しっぱなしに注意している〉(67.5%)で約7割、〈車の運転時は急発進・急加速はしない〉(57.3%)で約6割である。(図表3-1)

【地域別】

〈冷暖房の設定温度を控えめにしている〉を「実施している」割合が最も高いのは“南地域”（58.9%）で、最も低いのは“東地域”（48.4%）となっている。

〈節電に努めている〉に関しては、“南地域”（63.7%）が他の地域に比べて「実施している」割合が高い。

〈ガスコンロの炎がなべからはみ出さないように調節している〉ことを「実施している」割合が最も高いのは、“南地域”（74.2%）で7割台半ばとなっている。

〈シャワーの流しっぱなしに注意している〉は、“南地域”（77.4%）が他の地域に比べて「実施している」割合が高い。

〈車の運転時は、急発進・急加速はしない〉を「実施している」割合は、“南地域”（66.9%）で6割台半ばとなっている。（図表3-2）

【性・年代別】

〈冷暖房の設定温度を控えめにしている〉を「実施している」割合は、女性の60歳以上（64.2%）が6割台半ばで最も高い。「実施していない」は、男性の20代（12.0%）、30代（11.1%）で他の年代に比べて高くなっている。

〈節電に努めている〉を「実施している」割合は、男性の60歳以上（69.2%）で最も高くなっている。また、「実施していない」割合は、男性の20代（8.0%）で他の年代に比べて高くなっている。

〈ガスコンロの炎がなべからはみ出さないように調節している〉は、男性は60歳以上（66.4%）で6割台半ばで他の年代に比べて高く、また、女性は40代（81.4%）で8割を越え、他の年代に比べて高くなっている。

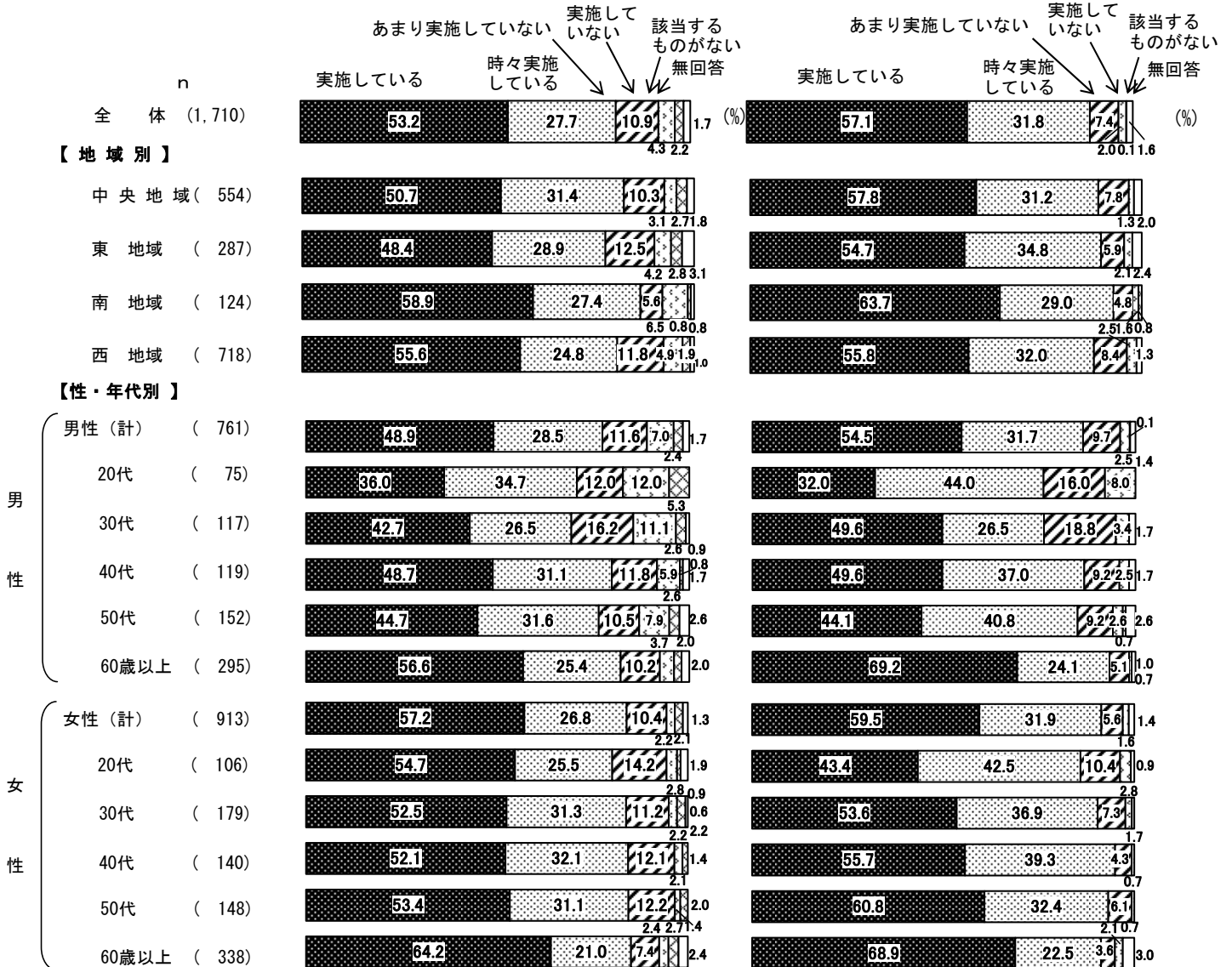
〈シャワーの流しっぱなしに注意している〉は、男性では年代が上昇するにつれて、「実施している」割合が上昇している。また、女性は60歳以上（81.1%）で8割を超えて他の年代に比べて高くなっている。

〈車の運転時は、急発進・急加速はしない〉は、「実施している」が男性の50代（65.1%）、60歳以上（67.8%）で6割台半ばとなっている。また、女性40代（68.6%）、50代（66.9%）で6割台半ばを超え、他の年代に比べて高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2> 環境保全のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別

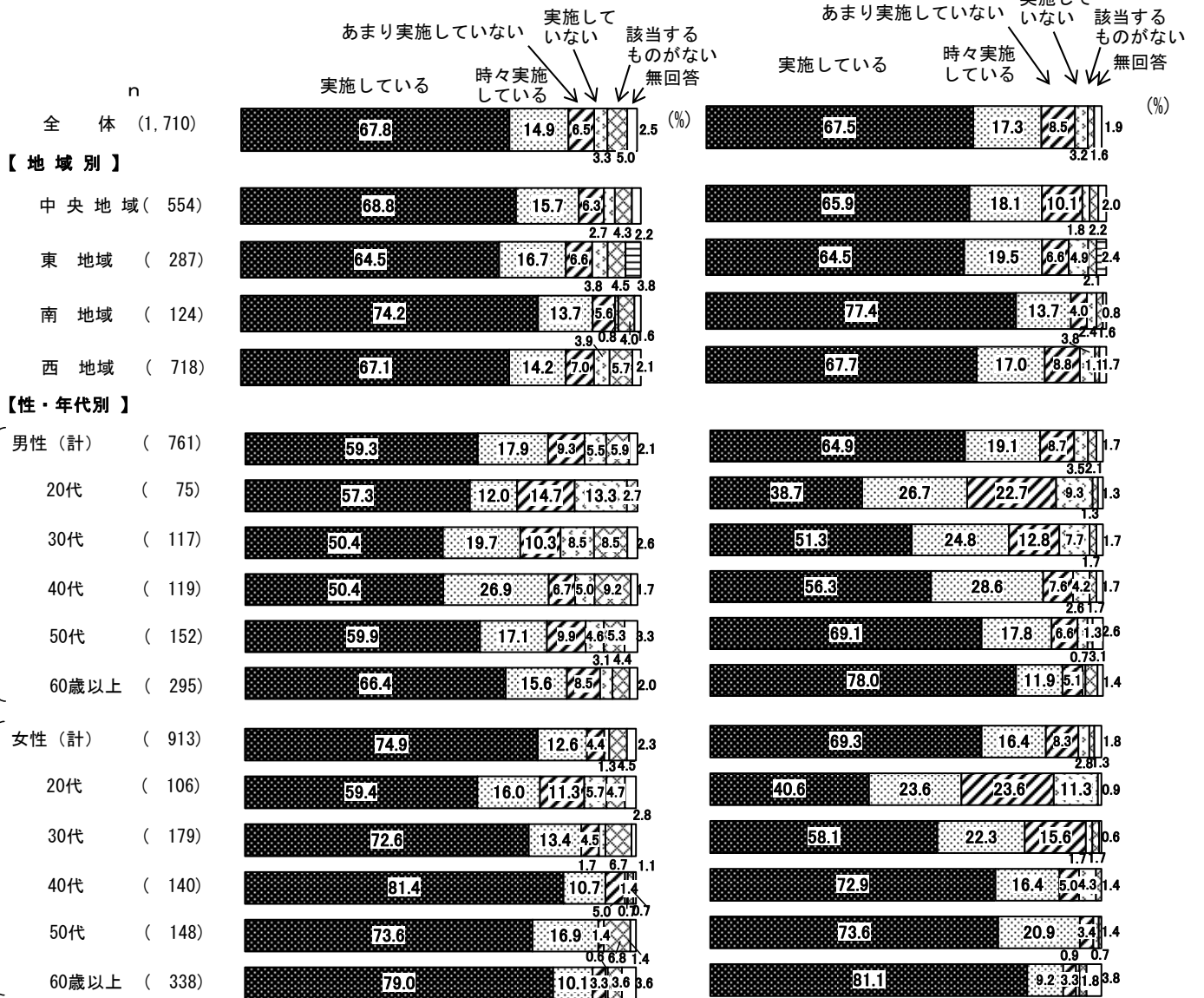
(ア) 冷暖房の設定温度を控えている

(イ) 節電に努めている

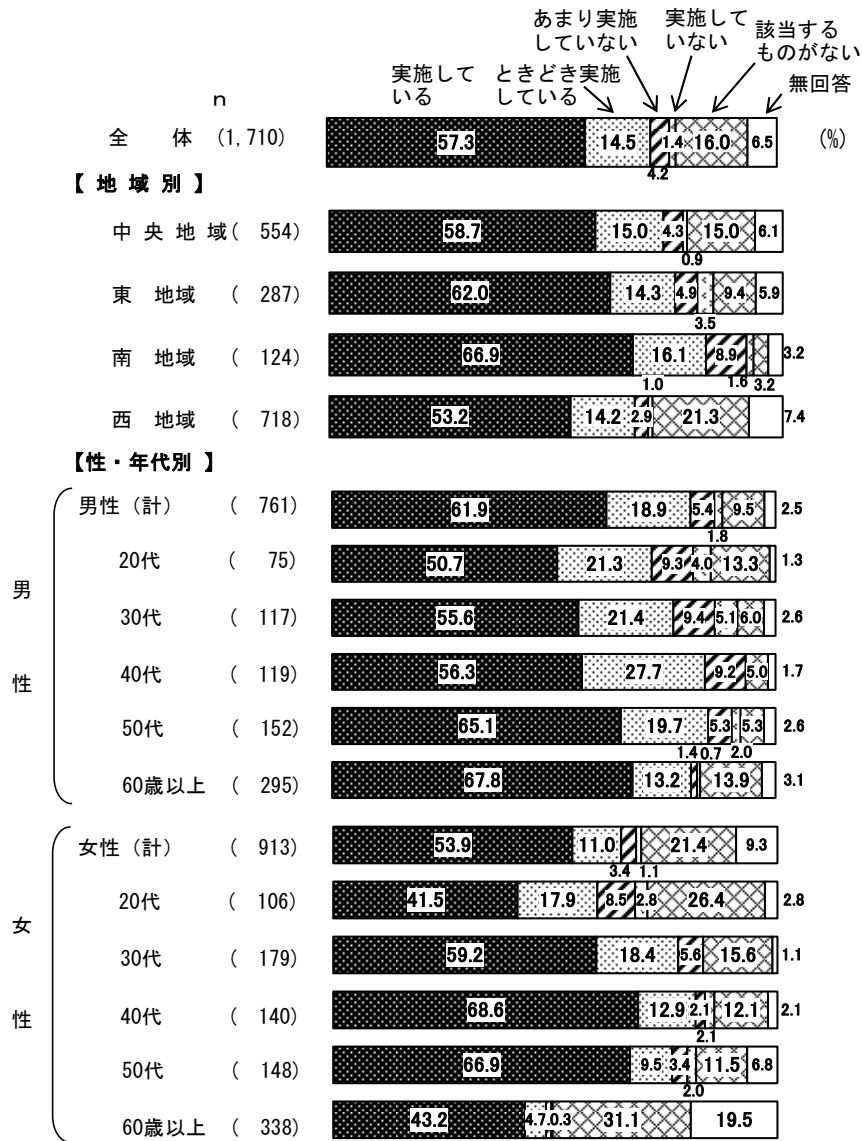


(ウ) ガスコンロの炎がなべからはみ出さないように調節している

(エ) シャワーの流しっぱなしに注意している



(オ) 車の運転時は、急発進・急加速はしない

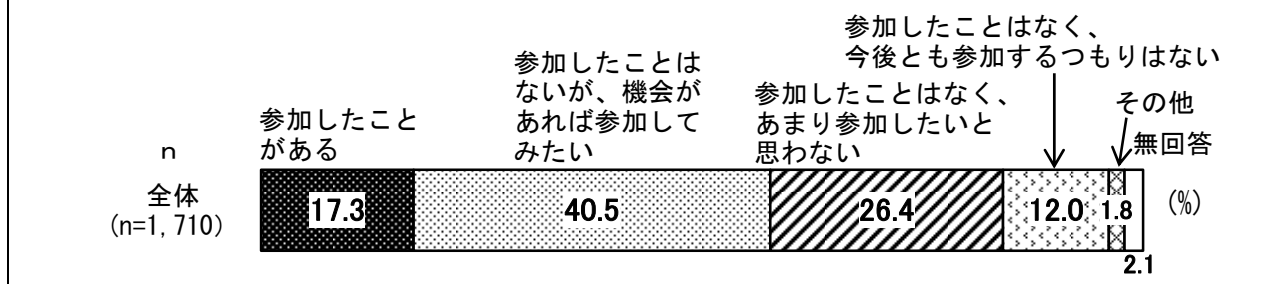


(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験

◇「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が最も高く4割を超える。

問12 あなたは、これまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(○は1つ)

＜図表3-3＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験を聞いたところ、最も高かったのは、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(40.5%)で4割を超える。「参加したことがある」(17.3%)は約2割である。(図表3-3)

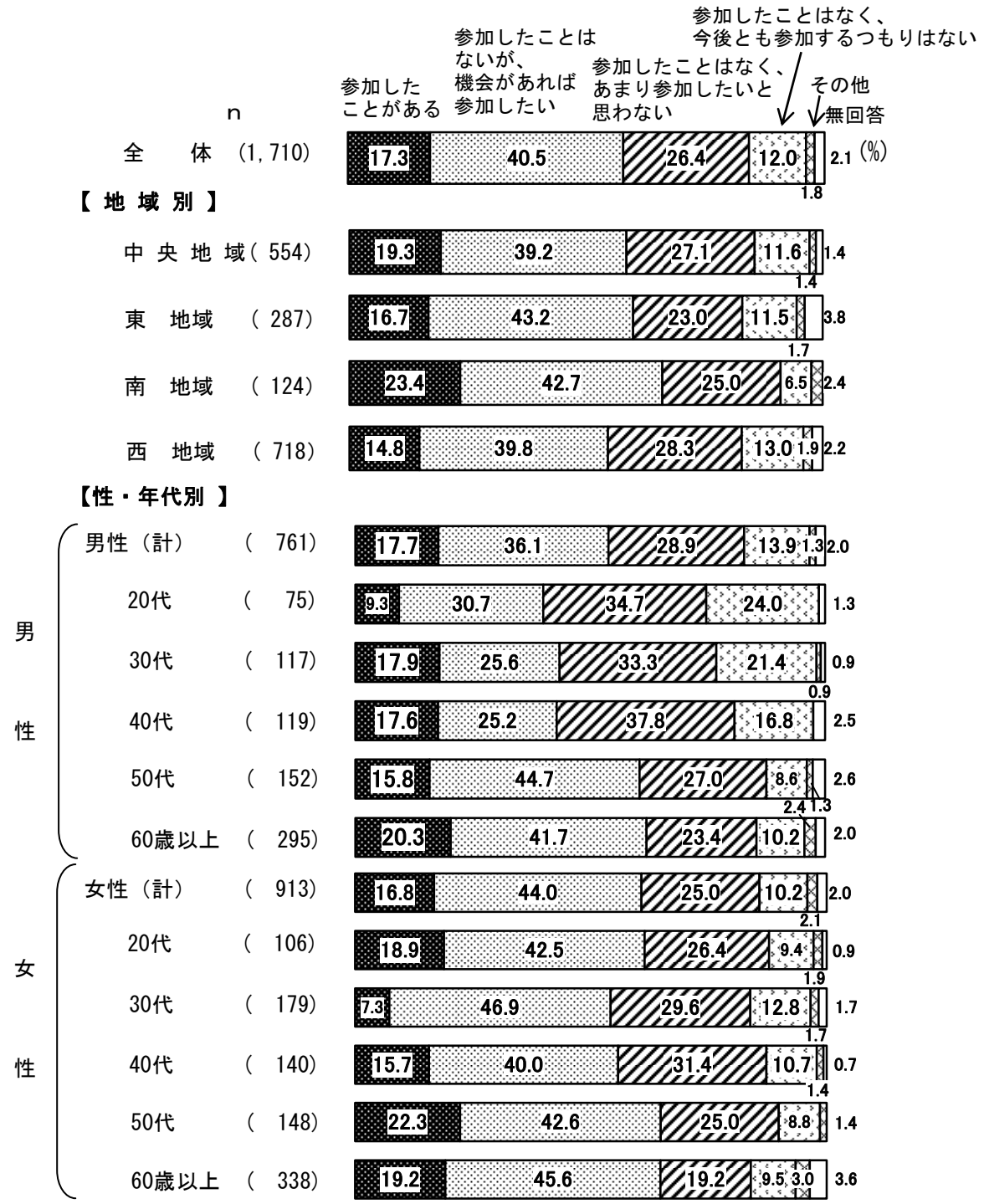
【地域別】

「参加したことがある」は、“南地域”(23.4%)が2割台半ばで最も高くなっている。また、“西地域”(14.8%)が1割台半ばで最も低い。(図表3-4)

【性・年代別】

「参加したことがある」は、男性は60歳以上(20.3%)が2割で他の年代より高くなっている。また、女性は50代(22.3%)で2割を超え最も高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は、男性の50代(44.7%)、女性の30代(46.9%)が最も高い。

＜図表3-4＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験／
地域別、性・年代別



問 「環境保全への取り組みについて」やここまでの質問（問11～問12）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、128人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した

■「環境保全に関する取り組みについて」の自由回答（抜粋）

- 必要であればもっと細かくゴミの分別をするなど、リサイクルにできるだけ配慮してゴミを減らしたいです。商品化する時点での企業の協力が必要かとも思います。(女性・30代・西地域)
- 車をなるべく使用せず、電車、自転車などに切り替えて行なっている。(女性・60歳以上・西地域)
- 県民だよりもエコに対する情報が多く記載されているので参考になります。1月1日発行の記事（4ページ）の環境家計簿はCO2排出量が具体的に計算できて、特に削減すべき項目も知る事ができました。(女性・30代・西地域)
- コンクリートをできるだけ土に戻し、草木を育てる事をして欲しい。(男性・30代・西地域)
- 各企業の利益の為が中心で、むだな商品・物が多すぎる。その為、大切にしない！（男性・50代・東地域）
- ライトアップはムダな様に思う。その分、田舎に街灯を設置して欲しい。(女性・40代・中央地域)
- まずは役所から取り組んで下さい。冷暖房設定・節電・車の使用など。(男性・40代・南地域)
- 環境保全と車の排気ガスの関係からも、この問題を考えるべきだと感じます。車の排気ガスは渋滞の問題や交通事故発生率ともリンクし、様々な問題の解決となるからです。(男性・30代・西地域)
- 産業廃棄物、路上へのゴミのポイ捨てなど、モラルが低下しているのを目にすることが多い。どうしたら良いかを多くの人に知ってもらい、考えてもらえる取り組みが必要と思う。(女性・50代・中央地域)
- 義務教育期間中に環境について学ばせ、躰として身につけさせるべきだと思います。成人になってからは無理だと考えます。(男性・50代・南地域)